

日時 令和6年1月26日(金) 14:00 ~ 16:00  
場所 和泉総合高等学校 2F エンパワメントルーム  
出席者 委員(敬称略) 寺脇会長・上條副会長・山内委員・大野委員  
学校・事務局 加納 校長・高橋 教頭・松下 教頭・館 首席・徳増 首席  
中津 教務主任・小谷内 生徒指導主事・中村 進路主事

## 議 事

### 1. 開会の辞

### 2. 校長挨拶

- ・住民監査請求については、12月に事務局監査を無事に終えることができた
- ・学校経営計画については、令和4年度に大きく変更し3年をひとくくりで考えている

### 3. 学校の状況報告

#### ①学校経営計画について説明(加納校長より)

#### ②学校教育自己診断について分析と考察(高橋教頭より)

#### ③進路状況について(中村進路指導主事より)

1月になったが本日も2名応募書類を提出し、職場見学も予定している。ひきつづき最後まで指導していく。求人自体は生徒には有利な売り手市場が続いている。

#### ④生徒指導について(小谷内生徒指導主事より)

時代の流れもあって厳しい指導は年々難しくなっている。生徒の現状に合わせた柔軟な対応が、今後も重要になってくると思われる。

#### ⑤教務より(中津教務主任より)

今年度の総括と、来年度に向けた課題

#### ⑥首席より(徳増首席より)

通級指導2年目を迎えての現状報告

### 4. 全体協議・質疑応答

#### ①上條副会長より

- ・学校経営計画については、令和4年度に大きく見直しを行い、順調にすすめられている。
- ・1年次生の欠席が突出しているのが気になるが、来年複数担任制を考えておられるようなので、より手厚い指導に期待したい。

#### ②山内委員より

- ・各部署・学校教育自己診断など分析的で論理的にとらえられている。
- ・通級自体は複数校に設置されているが、是非トップランナーとして走り続けてほしい。
- ・教員の指導力向上は、最終的には生徒に帰っていくものである、教員研修も良いが事例を皆で出し合って共有し、最適解を自分達で創出していくのが大切。

#### ③大野委員より

- ・我々教員は「これくらいは自分で判断できるだろう」と思っているも、生徒達にとっては大変なことであることも。自己判断できる環境整備・情報提供がなされているか?客観的な視点をもつことが大切。